

◇2012年度実施の国内修学旅行の実態とまとめ(中学校)〈抜粋〉◇

この調査は2012(平成24)年度に実施された中学校の修学旅行に関するものである。

今回の調査では、国内修学旅行実施率は93.2%と、前回調査より若干下がったものの、旅行先や実施時期がほぼ例年のように戻ったと思われる。震災の復興を目指し頑張っている東北地方へ目的地を変更した学校がたり、ニューツーリズムの多様化が広がってきたりしてきた様子がうかがえた。

この調査は、全国の国立・公立・私立等の中学校を対象とし、下表の調査校を抽出し回答を依頼した。

設置者名	国立	公立	私立等	合計
全国校数	73	9,860	766	10,699
抽出校数	73	1,581	688	2,342
回答校数	20	532	178	730
回答率%	27.4	33.6	25.9	31.2

※ 私立等には組合立1校を含む

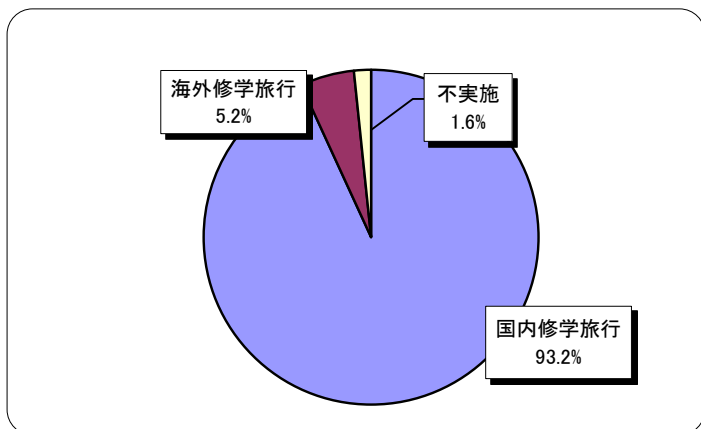
※ 回答率は、抽出校数に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

- (1)実施状況(2)不参加生徒の有無と理由(3)実施時期(4)実施学年(5)保健指導のための引率者
(6)旅行費用(7)主な交通手段(8)旅行内容「重点をおいた活動、旅行先、宿泊地・宿泊形態、見学先等」
(9)班別自主行動(10)体験学習(11)防災(避難)訓練の取り組み

ここではその一部を抜粋して紹介する。なお詳細についてはデータブック教育旅行年報をご覧ください。

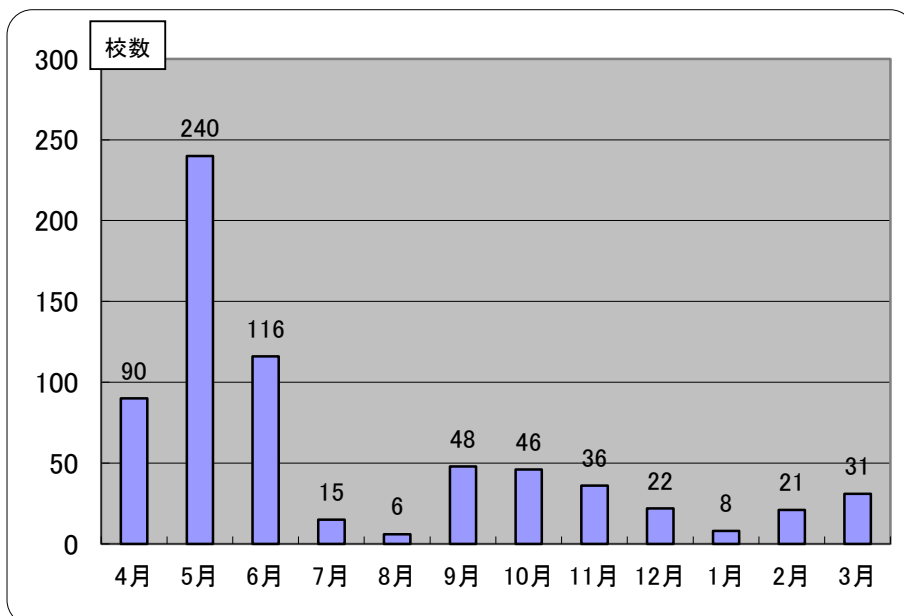
1 修学旅行の実施状況



回答のあった海外修学旅行も含めた実施率は98.4%で、前回97.2%より若干上がった。

また全体では、海外修学旅行の実施校の割合が前回調査より2.4ポイント上がった。今回調査では、全体に対して私立の割合が増えたことも要因となっている。

2 修学旅行実施時期

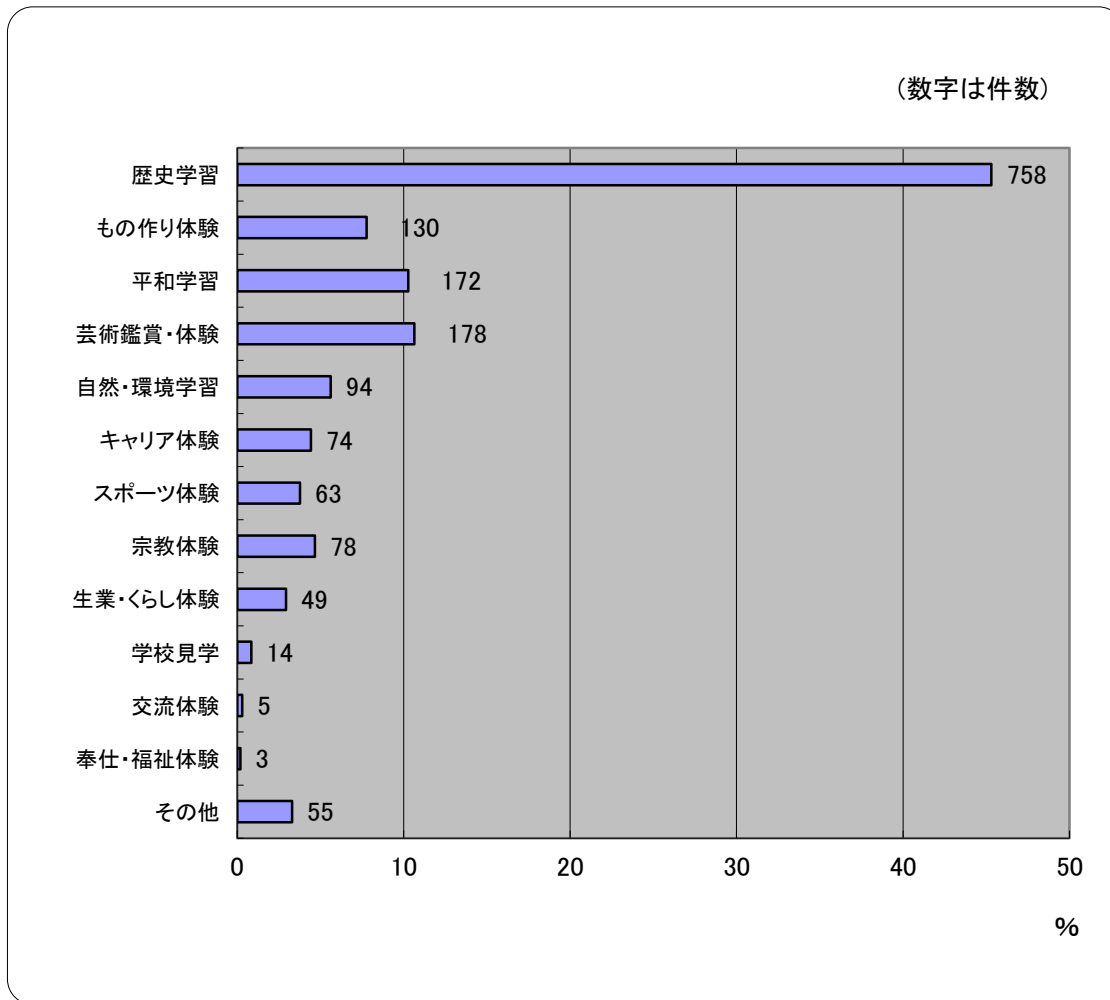


公立は、4・5・6月実施が76.4%で公立全体の3/4を占めている。

前回調査では、震災と原発事故の影響により、実施時期が後ろに移行した学校も多く見られたが、今回調査では例年並みに戻った。

また、3学期に実施している学校は、ほとんど2年生で実施している。

3 分類別旅行内容



前回調査より、旅行内容で重点をおいた活動や目的が何であったかを割合に表した「修学旅行で重点をおいた活動(分類別)の件数」としてグラフに示した。

そのなかで、史跡・町並み・産業遺産・博物館等の見学などの歴史学習に重点をおくものが45.3%(前回調査46.2%)、伝統工芸・料理・食品加工などのもの作りが7.8%(前回調査9.6%)、平和学習が10.3%(前回調査9.4%)、ミュージカル・演劇鑑賞、伝統文化・伝統芸能や祭り体験、美術館等の見学、コンサート・音楽鑑賞などの芸術鑑賞・体験が10.6%(前回調査9.1%)、野外活動・環境学習などの自然・環境学習の分野が5.6%(前回調査7.8%)であった。

なお全回答1,673件の内、この5つの内容が全体の79.6%(前回調査82.1%)を占めている。



眼下に猪苗代湖を望むスキー体験教室(写真提供＝猪苗代町商工観光課)



周防灘フェリーでの生徒とお別れ(写真提供＝NP O大分県GT研究会国東市・豊後高田市)

4 旅行先ベスト20

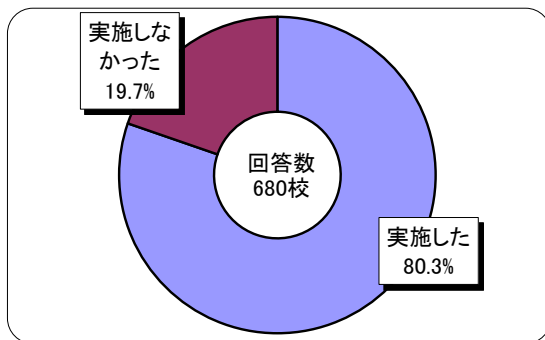
順位	旅行先	件数	構成比%
1	京都	306	21.2
2	奈良	254	17.6
3	東京	142	9.8
4	千葉	119	8.3
5	大阪	82	5.7
6	沖縄	65	4.5
7	兵庫	58	4.0
8	神奈川	52	3.6
8	長崎	52	3.6
10	広島	42	2.9
11	福岡	41	2.8
12	北海道	35	2.4
13	長野	27	1.9
14	熊本	24	1.7
15	山梨	16	1.1
16	滋賀	13	0.9
17	岐阜	12	0.8
18	鹿児島	11	0.8
18	岡山	11	0.8
20	山口	10	0.7
20	佐賀	10	0.7
その他		60	4.2
合計		1,442	100.0

前期調査からカウント方法は、滞在時間に関係なく、例えば滞在が半日であっても、2日であっても、初日と3日目であっても、行った旅行先を「1」としている。

その中で、今回調査で大きな変動として、震災の影響が薄らいだ影響で、東京・千葉が1つずつ上がり、大阪が前回3位から5位に下がったこと、件数としては少ないが佐賀が前回15位から20位に下がったことがあげられる。

件数としては、少ないが震災の復興に向けがんばっている東北地方の岩手県で公立2校、私立2校の4校(前回調査2校)が、震災・防災学習や農業体験などを行った。

5 班別自主行動実施率

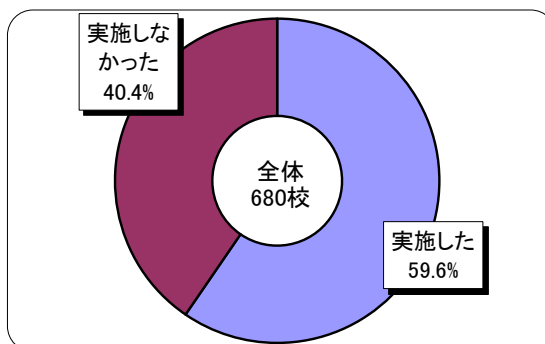


今回も80%台を超え、全体で80.3%の実施率であった。

参考までに、過去の実績をあげてみると、2006(平成18)年が92.1%、2007(平成19)年が85.2%、2008(平成20)年が87.3%、2009(平成21年)が76.4%、前回2011(平成23)年が82.8%であった。

今後、体験学習との関連も含めて、各学校で生徒の実態と目標を的確にとらえて、どのような形態で具体的に何を学習させるべきかを考えていく必要があるだろう。

6 体験学習実施率



体験学習実施率は、全体で59.6%と前回調査(2011年度実施、58.5%)より1.1ポイント増えた。ほぼ、昨年と状況が同じであり、修学旅行における目標達成のための必要性が感じられる。